2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上場会社名	株式会社ビューティカダンホールディングス		上場取引所		東
コード番号	3041		URL	http://www.beauty-kadan.co.jp/	
代表者	(役職名) 代表取締役社長		(氏名)	舛田正一	
問合せ先責任者	(役職名) 専務取締役経営管理本部長		(氏名)	三島まりこ	(TEL) 096-370-0004
配当支払開始予定日	―				

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無　　)

(百万円未満切捨て)

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	1,736	△2.0	△105	―	△103	―	△106	―
2026年６月期第１四半期	1,771	△2.0	△82	―	△83	―	△88	―

(注)包括利益　2027年６月期第１四半期　△106百万円(　―%)　2026年６月期第１四半期　△88百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	△25.9	―
2026年６月期第１四半期	△19.9	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	2,375	310	13.1
2026年６月期	2,412	417	17.3

(参考) 自己資本　2027年６月期第１四半期　310百万円　2026年６月期　417百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	7,400	1.3	10	―	15	―	5	―

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　社（社名）　　、除外　　―社（社名）　―

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	5,076,000株	2026年６月期	5,076,000株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	975,252株	2026年６月期	975,252株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	4,100,748株	2026年６月期１Ｑ	4,099,401株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（会計方針の変更） …… 8
（セグメント情報等） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間（2026年７月１日から2026年９月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移し、企業の設備投資にも持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇による個人消費への影響や、海外経済の動向、為替相場の変動など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

花き業界においては、葬儀の小規模化や婚礼需要の多様化など、冠婚葬祭における顧客ニーズの変化が続く一方、国内生産者の減少や物流費、資材価格の高止まりなど、供給面での制約が続いております。また、輸入花材の供給不安定化や花材価格の変動に加え、人件費の上昇などが事業者の収益を圧迫しており、当社グループにおいても市場環境の変化を踏まえた事業運営を進めてまいりました。

このような事業環境のもと、当社グループは、中期経営計画に掲げる「グループ収益力の強化とサステナビリティ経営の推進による企業価値向上」を基本方針として、経営基盤の強化、各事業の収益性向上および持続的な成長に向けた体制整備に取り組んでまいりました。

しかしながら、各事業における収益性向上に向けた取組は、当第１四半期連結累計期間において十分な業績改善につながるには至らず、当社グループの売上高は、1,736,674千円（前年同期比2.0％減）となりました。利益面では、花材の仕入原価や人件費の上昇に加え、一部事業における売上高の減少などが影響し、営業損失は105,830千円（前年同期は82,974千円の損失）、経常損失は103,866千円（前年同期は83,810千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は106,414千円（前年同期は88,090千円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業においては、葬儀の小規模化や葬儀形式の多様化が定着するなか、花材価格や人件費の上昇など、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、東日本エリアでは、東北地区の売上高が堅調に推移した一方、関東地区において、供花の販売数量の減少による影響が価格改定に伴う販売単価の上昇効果を上回り、売上高が伸び悩みました。また、西日本エリアについては、関西地区を中心とした一部事業所における受注減少などにより、売上高が前年同期を下回りました。

利益面では、東日本エリアにおいて花材の仕入原価率や労務費率の上昇が見られたほか、西日本エリアでは、経費削減に取り組んだものの、売上高の減少などにより、引き続き厳しい収益環境となりました。

この結果、売上高は936,584千円（前年同期比3.9％減）、営業損失は27,438千円（前年同期は2,898千円の利益）となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業においては、国内の花き需要が伸び悩むなか、天候不順による輸入花材の供給減少や、市場流通量及び販売価格の変動など、引き続き不安定な事業環境が続いております。

このような環境のもと、当社連結子会社であるマイ・サクセス株式会社では、新規顧客の獲得や量販店等からの事前受注の確保により、一定の販売数量を維持したものの、マレーシア産スプレーマムの生育不良に伴う供給不足が継続したほか、９月には秋彼岸需要の低迷や葬儀関連顧客からの受注減少が重なり、売上高が前年同期を下回りました。

利益面では、台湾産ファレノをはじめとする主要品目の販売単価の下落に加え、定期販売や事前受注販売の構成比上昇などにより粗利益率が低下するなど、引き続き厳しい収益状況となりました。

この結果、売上高は631,640千円（前年同期比0.3％減）、営業損失は6,879千円（前年同期は1,307千円の利益）となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業においては、婚礼需要の多様化や挙式・披露宴の実施形態の変化が続いております。

このような事業環境のもと、ブライダル部門では、福岡地区の売上高が前年同期を上回った一方、関西地区及び熊本地区では前年同期を下回りました。また、リテール部門では、ＥＣ販売が前年同期を上回ったものの、造園部門の売上高が前年同期を大きく下回ったことなどにより、減収となりました。

利益面では、ブライダル部門の熊本地区やリテール部門の造園部門において、売上高の減少により人件費負担が相対的に重くなり、収益性が悪化しました。

この結果、売上高は56,494千円（前年同期比13.2％減）、営業損失は12,324千円（前年同期は8,186千円の損失）となりました。

（その他の事業）

その他の事業は、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業、レストラン事業、肥料製造販売を行っております。

当第１四半期連結累計期間については、肥料製造販売事業において令和８年熊本地震の影響を受け、売上高が減少したものの、レストラン事業における新規店舗の売上寄与などにより、増収となりました。

利益面では、レストラン事業における売上原価や人件費の増加に加え、肥料製造販売事業においても売上原価の増加が収益を圧迫するなど、引き続き厳しい収益状況となりました。

この結果、当事業の売上高は111,955千円（前年同期比13.9％増）、営業損失は14,954千円（前年同期は20,578千円の損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ37,272千円減少し、2,375,031千円となりました。これは主に、現金預金の減少によるものであります。

当第１四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ69,065千円増加し、2,064,255千円となりました。これは主に、買掛金の増加によるものであります。

当第１四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ106,337千円減少し、310,775千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の通期の業績予想につきましては、2026年８月14日に公表いたしました連結業績予想から、現時点においては変更はありません

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	760,120	637,015
売掛金	542,590	657,651
商品	22,697	25,589
仕掛品	26,641	49,779
原材料及び貯蔵品	53,615	50,861
その他	94,791	55,668
貸倒引当金	△5,947	△6,062
流動資産合計	1,494,509	1,470,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	677,737	681,454
減価償却累計額	△369,597	△379,148
建物及び構築物（純額）	308,139	302,306
車両運搬具	19,005	18,170
減価償却累計額	△18,229	△17,533
車両運搬具（純額）	775	636
工具、器具及び備品	161,738	162,088
減価償却累計額	△134,889	△136,324
工具、器具及び備品（純額）	26,848	25,764
土地	223,479	223,479
その他	18,845	19,306
減価償却累計額	△14,840	△15,205
その他（純額）	4,004	4,101
有形固定資産合計	563,248	556,287
無形固定資産		
ソフトウエア	35,947	33,014
その他	－	30
のれん	18,322	17,211
無形固定資産合計	54,269	50,255
投資その他の資産		
差入保証金	59,591	59,438
繰延税金資産	24,428	24,438
保険積立金	193,974	193,974
破産更生債権等	23,977	22,595
その他	15,536	14,883
貸倒引当金	△23,043	△22,402
投資その他の資産合計	294,465	292,927
固定資産合計	911,983	899,471
繰延資産		
開業費	5,810	5,055
繰延資産合計	5,810	5,055
資産合計	2,412,303	2,375,031

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	214,411	281,603
短期借入金	570,000	570,000
1年内返済予定の長期借入金	193,736	189,566
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	70,548	71,773
未払法人税等	8,191	2,204
未払費用	76,829	73,771
賞与引当金	2,477	31,282
資産除去債務	10,000	10,000
株主優待引当金	27,000	27,000
その他	92,795	135,964
流動負債合計	1,285,989	1,413,166
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	564,294	518,977
リース債務	34,392	30,676
退職給付に係る負債	72,008	72,929
資産除去債務	18,505	18,505
固定負債合計	709,201	651,089
負債合計	1,995,190	2,064,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	159,960	159,960
利益剰余金	261,031	154,617
自己株式	△217,208	△217,208
株主資本合計	417,023	310,609
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	89	166
純資産合計	417,112	310,775
負債純資産合計	2,412,303	2,375,031

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
売上高	1,771,744	1,736,674
売上原価	1,636,400	1,637,783
売上総利益	135,343	98,891
販売費及び一般管理費	218,317	204,721
営業損失（△）	△82,974	△105,830
営業外収益		
受取利息及び配当金	654	1,003
為替差益	0	848
受取賃貸料	338	338
補助金収入	372	1,392
その他	4,876	4,433
営業外収益合計	6,241	8,017
営業外費用		
支払利息	5,205	5,879
為替差損	738	－
その他	1,133	173
営業外費用合計	7,077	6,053
経常損失（△）	△83,810	△103,866
特別利益		
固定資産売却益	－	64
特別利益合計	－	64
税金等調整前四半期純損失（△）	△83,810	△103,802
法人税、住民税及び事業税	4,280	2,612
法人税等合計	4,280	2,612
四半期純損失（△）	△88,090	△106,414
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△88,090	△106,414

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
四半期純損失（△）	△88,090	△106,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	76
その他の包括利益合計	－	76
四半期包括利益	△88,090	△106,337
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,090	△106,337
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前第１四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

１．配当金支払額

決　　議	株式の種　類	配当金の総額(千円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年９月29日定時株主総会	普通株式	21,497	5.25	2025年６月30日	2025年９月30日	利益剰余金

２．基準日が当第１四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第１四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

無配につき記載すべき事項はございません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間(自　2025年７月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	生花祭壇事業	生花卸売事業	ブライダル装花事業	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	974,850	633,536	65,083	1,673,470	98,273	―	1,771,744
外部顧客への売上高	974,850	633,536	65,083	1,673,470	98,273	―	1,771,744
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,214	268,089	481	269,785	1,089	△270,874	―
計	976,064	901,625	65,565	1,943,255	99,363	△270,874	1,771,744
セグメント利益又は損失（△）	2,898	1,307	△8,186	△3,981	△20,578	△58,414	△82,974

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△58,414千円には、セグメント間取引消去47,895千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△121,362千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間(自　2026年７月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注) 1	調整額(注) 2	四半期連結損益計算書計上額(注) 3
	生花祭壇事業	生花卸売事業	ブライダル装花事業	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	936,584	631,640	56,494	1,624,719	111,955	－	1,736,674
外部顧客への売上高	936,584	631,640	56,494	1,624,719	111,955	－	1,736,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,913	236,578	568	239,060	9,844	△248,904	－
計	938,497	868,219	57,063	1,863,779	121,799	△248,904	1,736,674
セグメント利益又は損失(△)	△27,438	△6,879	△12,324	△46,642	△14,954	△44,232	△105,830

(注) １．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額△44,232千円には、セグメント間取引消去64,260千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△108,492千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間(自　2025年７月１日　至　2025年９月30日)	当第１四半期連結累計期間(自　2026年７月１日　至　2026年９月30日)
減価償却費	16,099千円	15,790千円
のれんの償却額	660千円	1,111千円